

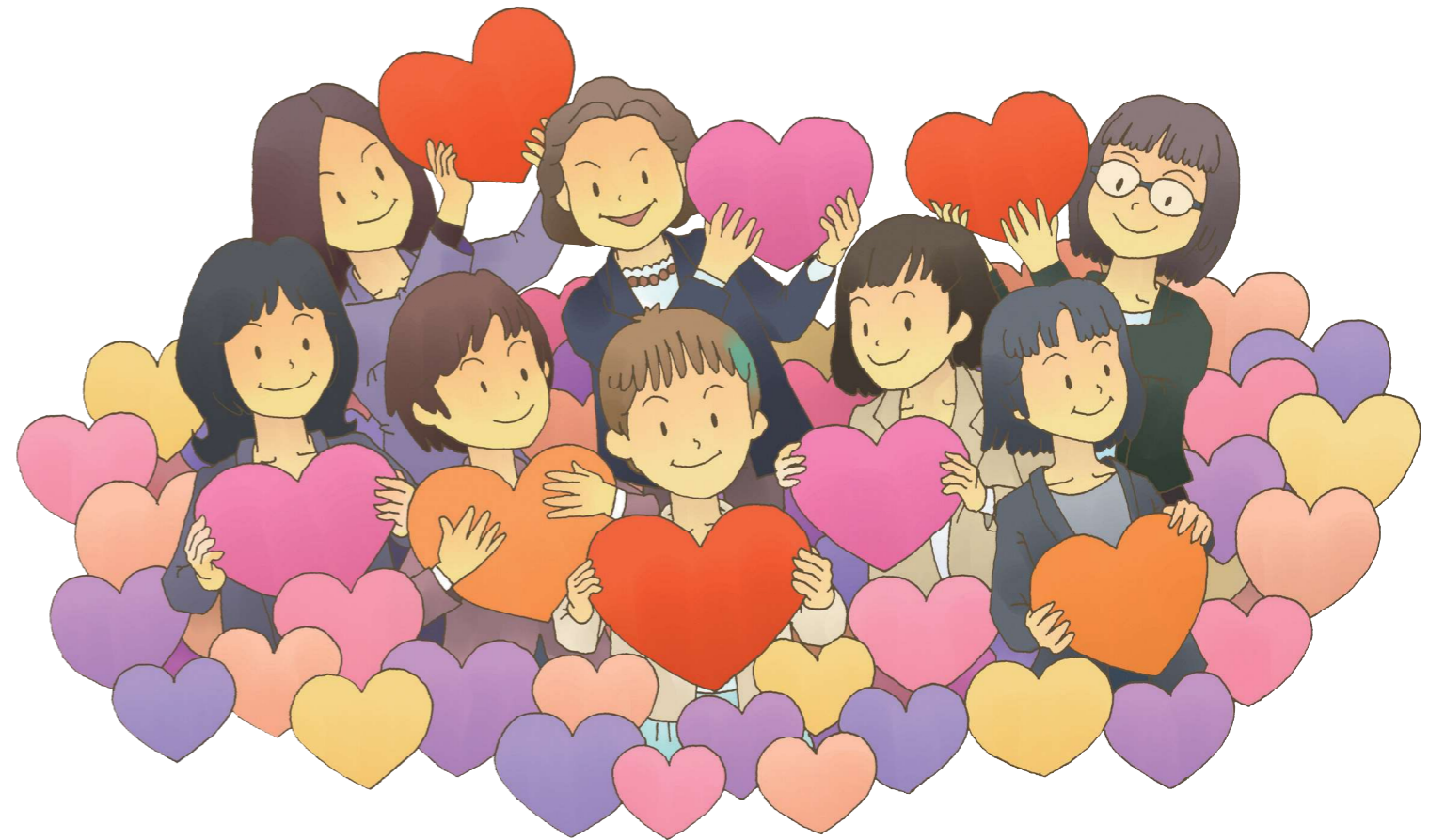
エス ディー ジー ス
**JA女性組織の活動は、SDGs
 そのもの！ 私たちの活動は、
 世界の課題解決につながっています**

持続可能な開発目標 (SDGs : エス・ディー・ジーズ)

Sustainable (サステイナブル) = 持続可能な **D**evelopment (ディベロップメント) = 開発 **G**oals (ゴールズ) = 目標

SDGsは、2015年国連で採択された持続可能な社会をつくるための17の目標です。社会の問題を解決し、よりよい未来を迎えるために、2030年に向けて世界が合意しました。そこには、世界のみんが力を合わせて、地球上のさまざまないのちのつながりや、その恵みを大切に、誰もが豊かさを感じ

られる平和な世界をつくらうという、ビジョンが掲げられており、それぞれの目標は相互に関連しています。JA女性組織の活動はSDGsそのものです。「誰一人取り残さない」という思いで、地域のさまざまな問題に力を合わせて、取り組んでいきましょう。



JA女性組織3カ年計画 2025年度~2027年度

「あい♡」からはじまる 「元気な地域」を みんなの力で

2025年は国連が定めた「国際協同組合年」です

国連は「一年間を通じて、平和と安全、開発、人権/人道の問題など、ひとつの特定のテーマを設定し、国際社会の関心を喚起し、取り組みを促すため」に「国際年」を制定しています。国連はその一環として2023年12月の「社会開発における協同組合」と題する総会決議のなかで、2025年を2012年に続き2回目の国際協同組合年(International Year of Cooperatives=IYC)とすると決めました。協同組合は組合員の生活の向上をめざし、自助と協同で「長期的」「多面的」「利他的」に事業を運営する組織です。世界的に評価が高まる今、地域社会の課題解決やSDGsへの貢献などに重要な役割を果たしていることを広く発信し、取り組みを強化することが求められています。

みなさまの「あい」が世界を変える大きな力に



農林水産省 大臣官房 審議官
勝野 美江

女性が活躍する組織は発展すると言われています。JA女性組織は、多彩な能力を有する女性の方々が知恵を出し合うことで、一人では取り組むことが難しい様々な課題にチャレンジすることができる力強い組織です。3つの「あい」で、「食と農」を次世代につなげる取り組みや農協運営への参画など精力的な活動の展開を期待しています。

JA全国女性協ホームページを活用した情報の発信

多くの方に女性組織の活動を知ってもらえるよう、毎年、テーマを設定し、リレーコラム形式で全国各地の女性組織の活動を紹介しています。また、地域の食の伝承活動として、四季折々の地元に伝わるレシピや家庭の味の情報を集約し、ホームページ内の「母から子へ、伝えたいわが家の味、地域の味!!」にて公開しています。



コロナ禍を経て、私たちの暮らしには様々な変化がありました。その変化には、受け止めていくべきもの、今までを取り戻す行動が必要なものがあります。より良い暮らしの環境づくりにつながるものは柔軟に受け入れながら、これまで集いつながってきた「絆」を育てる仲間や理解者とのふれあいは今まで以上に深めていく……、そのためには「理解し助けあえる」仲間づくりに取り組み、その仲間とともに経験し、学びあった「食」や「農」の情報を広く発信していくことで、理解者を増やし育てていく必要があります。

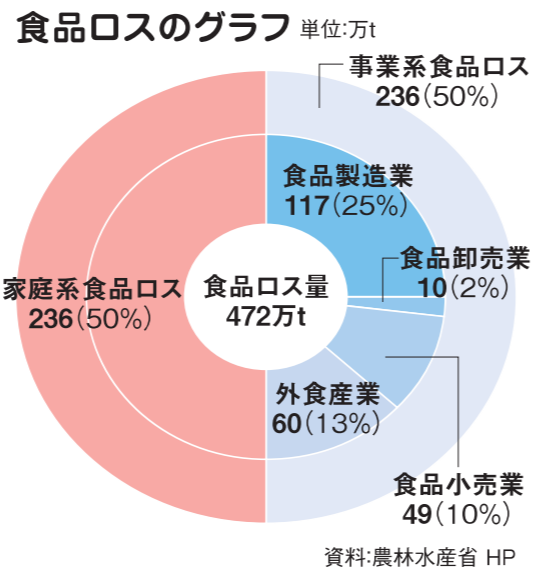
われわれJA女性組織はJAを拠りどころとして、「助けあい♡」「学びあい♡」「育てあい♡」を活動重点テーマとして掲げ、仲間や、かかわりを持つ人々に、あいを持って接し、絆を深めていきます。JA女性組織とSDGsは、めざす方向が同じであり、私たちの活動の実践が世界の課題解決につながります。地域に必要とされる取り組みを自信を持ってすすめ、出会った多くの仲間や理解者とともに、あいがあふれる元気な地域をつくりあげていくことをめざします。



3つの活動重点テーマ

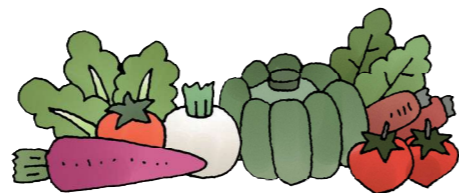
重点テーマ(1) 助けあい♡

- 家庭など身近なところから食品ロスを無くすための取り組みをすすめる、「子ども食堂」や「フードドライブ」、「学校給食への協力」など、食を通じて地域を支える活動の範囲を広げます。
- 高齢者の孤立防止などに繋がる「居場所づくり」のために、JAとも連携して「サロン」などの集いの場づくりに取り組み、地域コミュニティを守ります。
- あらゆる世代や地域住民に向けて「心と身体の健康」を維持するための活動を展開します。
- 地域の多様な組織や、様々な協同組合との連携を図り、「食と農」を次世代につなげる取り組みを実践します。
- 住みよい環境づくりのための美化運動やエコ活動などを積極的に行うとともに、気候変動とその影響への意識を高め、環境を守る取り組みをすすめます。



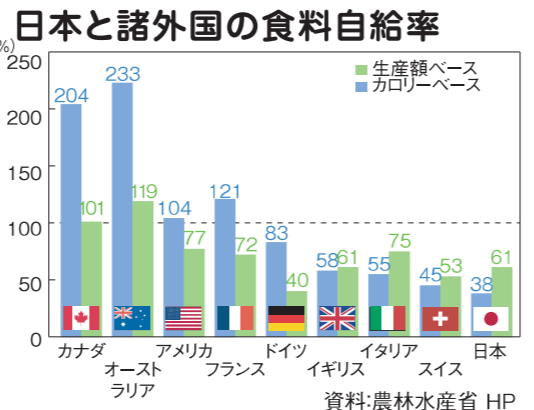
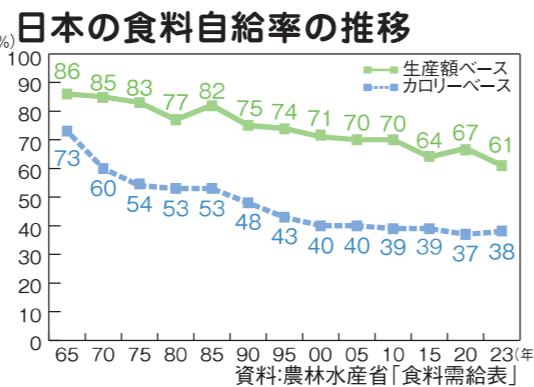
助けあい♡に関わるキーワード

- 子ども食堂・フードドライブ
- 食品ロス
- 学校給食への協力
- 居場所づくり・地域コミュニティ
- 健康増進
- 環境対応・孤立防止
- 協同組合連携



重点テーマ(2) 学びあい♡

- 「料理教室」「出前授業」「あぐりスクール」などを通じて、青壮年組織や生産者組織とともに、世代を超えて多くの人に食農教育の機会を提供し、地産地消・国産国産運動を推進します。
- 食料安全保障についての理解をすすめるため、自らが学び、その学んだことを積極的に発信し、消費者と生産者が協力し合う関係づくりに取り組みます。
- 防災対策を万全にするために、その地域ごとに必要な準備や行動などを常日頃から学び、いざというときに備えます。
- 世代を超えた活動を通じて交流をすすめることで、組織の活性化と、組織に関わる人々の輪を広げます。
- 協同組合の果たす役割や必要性を理解し、JA事業への積極的な参画とJA運営への女性の意思反映をすすめます。
- Web・SNSなどを積極的に活用し、「消費者と生産者」「JA役職員とJA女性組織メンバー」「メンバー同士」などのつながりを大切にしたい仲間づくりをすすめます。



助けあい♡に関わるキーワード

- 食農教育・地産地消・国産国産(食料安保)
- 防災
- 情報発信
- JAとの対話・協同組合学習
- 仲間づくり・フレッシュミズ



重点テーマ(3) 育てあい♡

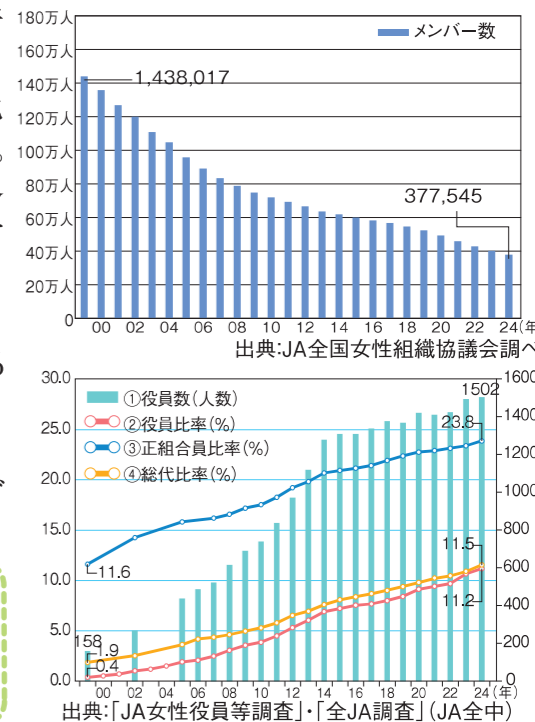
- 全組織でのフレッシュミズ組織の設置をめざし、ミドル・エルダー層も含め、組合員・地域住民などへの呼びかけを通じて次代を担う新たな仲間づくりをすすめます。
- 女性農業者育成のために、農業に触れ合う環境づくりに努め、「地域農業発展」と「女性の活躍の場所づくり」の相互強化を図ります。
- 伝統食の継承や次代への食・農・JAに関する学びの場づくりを各地域で展開し、多くの「食」「農」「協同組合」への理解の芽を育てます。
- JA女性組織メンバー全員が正・准組合員となることをめざします。
- JA運営への女性参画目標である「正組合員30%以上、総代15%以上、理事等15%以上」の達成をめざし、学習による理解を深め、女性の声をJAへ届ける活動を実践します。
- JAでの女性大学設立に積極的にに関わり、メンバーや地域住民など多くの女性が学べる場所づくりをすすめます。

育てあい♡に関わるキーワード

- フレッシュミズ・女性農業者
- 仲間づくり・世代間交流
- 女性大学
- 地域農業
- 農業経営
- 地産地消・国産国産・伝統食
- JA運営参画・組織活性化



JA女性組織メンバー数等の推移



第30回JA全国大会決議(2025~2027年度)

第30回JA全国大会では、JAグループへの期待や果たすべき役割をふまえ、JAグループの存在意義を「協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かなくらしと活力ある地域社会を実現する」と整理しています。私たちJA女性組織メンバーも、JA運営へ積極的に参画し、JAとともに協同の力で、「食」「農」「地域」を支えていきましょう。

JA綱領

JAグループの存在意義	めざす姿(2030)	JAグループが提供する価値
協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かなくらしと活力ある地域社会を実現する	<ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な農業の実現 ●豊かなくらしやすい地域共生社会の実現 ●協同組合としての役割発揮 	食料・農業への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心な国産農畜産物の安定供給 ●農業所得の増大の実現 組合員のくらし・地域社会への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ●組合員の豊かなくらしの実現 ●地域社会の持続的発展の実現

第30回JA全国大会決議

主題・副題	組合員・地域とともに食と農を支える協同の力 ~協同活動と総合事業の好循環~	
取組の方向性	I 食料・農業戦略 <ul style="list-style-type: none"> ○食料安全保障への貢献に向けた地域農業の実践 ○次世代の確保や環境との調和を通じた持続可能な農業の実現 ○農業所得の増大と国産農畜産物の安定供給 ○農業の担い手ニーズへの対応強化に向けた営農経済事業体制の整備 	II くらし・地域活性化戦略 <ul style="list-style-type: none"> ○活動・事業を通じた組合員の豊かなくらしの実現 ○協同活動の実践による協同組合としての強みの発揮 ○総合事業による組合員の豊かなくらしの実現 ○活動・事業を通じた地域社会の活性化・地域共生社会の実現
	III 組織基盤強化戦略(JA仲間づくり戦略) <ul style="list-style-type: none"> ○組合員等の現状把握と類型化をふまえた関係強化 ○価値観を共有する仲間づくり ○女性・青年をはじめとする多様な組合員等の参画促進 ○組合員の学びの場の提供・リーダー育成 	IV 経営基盤強化戦略 <ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な経営基盤の確立 ○組合員・利用者から信頼される組織・業務運営の実践 ○価値提供に向けた協同組合らしい人づくり ○JAの機能発揮に向けた中央会・連合会による支援
取組の方向性	V 広報戦略 <ul style="list-style-type: none"> ○戦略的な情報発信に向けた広報戦略の確立と着実な実践 ○農業・JAグループに対する理解醸成・行動変容に向けた情報発信 ○組合員・職場向け広報による組合員・役職員の理解促進 	